

三保連共同声明文

(平成 20 年 1 月 26 日)

平成 20 年度診療報酬改定においても、我が国では低医療費政策からの脱却のきざしは乏しく、医療荒廃の進行が強く危惧される。その一方で、我々は国民の期待に真摯かつ的確に応えるために、患者の視点に立った自律的な医療の改革を進めなければならない。提供される医療について安全性の確保、有効性の実現、効率的なシステムの構築、そしてそれらについての納得できる行き届いた説明を通じて始めて、より大きな医療費の負担について国民的な理解と支持が得られるものと考えます。医療に携わる我々は、患者の視点の達成に向けて内科系、外科系および看護系の各領域で、より一層の努力を傾注することをここに声明する。

内科系学会社会保険連合

外科系学会社会保険委員会連合

看護系学会等社会保険連合